

# 9月オレンジ第2だより

令和4年9月1日発行



8月の猛暑日が続く中で、園庭で水遊びや・どろんこ遊び・色水遊びを存分に体験した子どもたちです。コロナ第7波によるコロナ感染者・特に家族感染の拡大により、数週間お休みをする子がいるのが現状です。コロナの濃厚接触者ということで保護者の皆様の積極的な家庭保育のご協力により、園全体・クラス全体に休園をお願いする事が少なくなりました。ご協力に感謝申し上げます。

いよいよ9月を迎えます。先月の園便りで「夏まつり」を9月に予定するとお知らせいたしましたが、子どもたちは、それぞれのお部屋で思う存分「夏祭り」を楽しみ、そして夏の水遊びへ興味が高まり、9月は自然物での玩具作りと年間の計画を楽しんでおり、また、「夏祭り」の気分を引き起こすより、10月の予定「ミニ運動会」と合わせて、保護者の皆さんと一緒に楽しめた方が、より気持ちが高まるだろうと判断し9月予定の夏祭りは、10月の運動会と合わせて行いますので、何卒ご理解の程よろしくお願ひします。



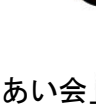
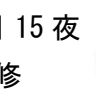
## 食育便り

秋の風を感じながら、9月は、15夜のお月見や敬老の日・お彼岸と行事があります。お月様にお供えするお団子を「豆腐白玉風団子」やお彼岸の「おはぎ」を作って食べる体験や、沖縄の伝統食・ヒラヤーチー・ぽーぼ・そうめんチャンプルーを食べ昔の人々の生活を味わってみたいと思っています。給食献立表・玄関の今日の献立をご覧ください。



## 9月の行事予定表

- 9月5日(月) 持ちもの点検・身体検査
  - 9月10日(土) 避難訓練・・中秋の名月15夜
  - 17日(土)・・第3土曜日・午後職員研修
  - 19日(月)・・敬老の日(公休日)
  - 21日(水)・・身体測定・ベビーマッサージ
  - 23(金)・・秋分の日(公休日)
  - 27日(火)・・お弁当の日
- 尚、ミニ運動会は10月15日「鏡水ふれあい会」予定しています。



## 育児ワンポイント



言葉を獲得していく乳児期に、大人の語りかけはとても重要です。子どもの育ちのためにも、たくさん声をかけていこう、言葉のシャワーを浴びせよう！といわれています。「〇ちゃん、積み木するのね、ほらここ・ここにいれて」「長いね・黄色だね・赤もあるよ・ほらほら」「ほら・見て！ポットンと落ちたよ」大人はどんどん声をかけています。大人の流れるような声掛けが続いています。でもよく見ると、子どもの目はオモチャに向いておらず、大人に背を向けているなんてことも……子どもの気持ちを読みとって代弁する声掛けは特に大切。でも、その姿勢が前のめりすぎてしまうと、子どもの気持ちが置いてきぼりになりがちです。大人の勝手な決めつけで代弁されても、子どもにとっては邪魔だけの時もあります。子どもとの「やりとり」を一方的な大人のマシンガートークではなく、子どもの意思表示に気付いてやれるタイミングが必要です。「自分のやりたい事」に大人が気づいてくれたとき、本当の喜び・信頼が生まれるのです。・日々の育児や声掛けを振り返って見てはいかがでしょうか？

## 保健だより



### 《オレンジ第2保育園の危機管理》

皆様もすでにご存じかと思いますが、先月、那覇市内の認可外保育園で痛ましい死亡事故が起きてしまいました。

保護者の皆様の大切なお子様の命を預かる、保育園として身近でこのような事故が起こってしまったことに大変心を痛めております。

私たちオレンジ第2保育園では、子供たちが安心・安全に保育園生活を送れるように危機管理マニュアルを作成し、子どもの死亡事故の3大要因である「睡眠時突然死症候群」「食事の誤嚥による窒息」「水遊びによる溺水」の事故防止と早期発見、早期対応(救急救命法の訓練も行っています。)ができるように園内研修を重ねています。

※睡眠時の事故予防として

- 1, 寝かせるときは仰向けに寝かせる。
- 2, 口の中に食べ物や異物が入っていないか確認して寝かせる
- 3, 寝ている周囲に玩具やひも状のものを置かない
- 4, 部屋を暗くしすぎない
- 5, 0歳児(5分毎)1歳児以上(10分毎)に呼吸や顔色をチェック
- 6, 寝ている子のそばには必ず保育者が付き添い離れない等を確認しています。



※食事の誤嚥予防として

- 1, ミニトマトやウズラの卵、キューブ型チーズ、餅等詰まらせやすい食材は給食に出さないようにしています。(保護者の皆様にもお弁当に入れる際は1/2又は4/1にカットして入れるようお願いしています。)
- 2, 口に詰め込みすぎないように声をかけ見守っています。
- 3, 食事が口に入ったまま、歩き回らないように指導しています。

※水遊びの転倒、溺水予防

- 1, 水遊びの際は、子供と一緒に遊ぶ職員と、監視をする職員を分けて見守るようにしています。
- ※保育者も人間ですので、見落としや失敗もあると思いますが、これからもより一層、複数の保育者で声をかけながら見守り、子供たちの安全に配慮していきたいと思ひます。

